



デジタルサイネージ

ユーザーマニュアル

法的情報

本書について

- 本書には、本製品の使用および管理に関する説明が含まれています。以下に記載されている写真、図表、画像、およびその他の情報は、説明および解説のみを目的としています。
- 本ドキュメントに記載されている情報は、ファームウェアのアップデートやその他の理由により、予告なく変更される場合があります。本ドキュメントの最新版は、Hikvisionのウェブサイト（<https://www.hikvision.com>）でご確認ください。別段の合意がない限り、Hangzhou Hikvision Digital Technology Co., Ltd. またはその関連会社（以下「Hikvision」といいます）は、明示的または黙示的を問わず、いかなる保証も行いません。
- 本製品に関するサポートの訓練を受けた専門家の指導と支援のもと、本ドキュメントをご利用ください。

本製品について

- 本製品のアフターサービスは、ご購入いただいた国または地域でのみご利用いただけます。
- お選びいただいた製品が映像製品の場合は、以下の QR コードをスキャンして「映像製品のご利用に関する取り組み」を入手し、よくお読みください。



知的財産権に関する承認

- Hikvisionは、本書に記載された製品に組み込まれた技術に関する著作権および／または特許権を保有しており、これには第三者から取得したライセンスが含まれる場合があります。
- 本文書のテキスト、画像、グラフィックなどを含むいかなる部分も、Hikvisionに帰属します。書面による許可なく、本文書のいかなる部分も、その全部または一部を問わず、いかなる手段によっても抜粋、複製、翻訳、または改変することはできません。
- **HIKVISION** およびその他の Hikvision の商標およびロゴは、各管轄区域において Hikvision の所有物です。
- 記載されているその他の商標およびロゴは、それぞれの所有者に帰属します。

- **HDMI™** 「HDMI」、「HDMI High-Definition Multimedia Interface」、
HIGH-DEFINITION MULTIMEDIA INTERFACE

HDMIトレードドレス、およびHDMIロゴは、HDMI Licensing Administrator, Inc.の商標または登録商標です。

法的免責事項

- 適用される法律で許容される最大限の範囲において、本書および記載されている製品（そのハードウェア、ソフトウェア、ファームウェアを含む）は、「現状有姿」かつ「すべての欠陥およびエラーを含む」状態で提供されます。HIKVISIONは、商品性、満足のいく品質、または特定の目的への適合性を含むがこれらに限定されない、明示的または黙示的でない保証も行いません。本製品の使用は、お客様ご自身の責任において行われるものとします。いかなる場合においても、HIKVISIONは、事業利益の損失、事業の中断、データの損失、システムの破損、または文書の紛失を含むいかなる特別損害、結果的損害、付随的損害、または間接損害についても、契約違反、不法行為（過失を含む）、製造物責任、その他いかなる理由に基づくものであっても、本製品の使用に関連して、たとえHIKVISIONがそのような損害または損失の可能性について通知を受けていた場合であっても、一切の責任を負いません。
- お客様は、インターネットの性質上、固有のセキュリティリスクが存在することを認識し、サイバー攻撃、ハッカー攻撃、ウイルス感染、またはその他のインターネットセキュリティリスクに起因する異常動作、プライバシー漏洩、その他の損害について、一切の責任を負いません。ただし、必要に応じて、HIKVISIONは適時に技術サポートを提供します。
- お客様は、本製品をすべての適用法令に従って使用することに同意するものとします。また、お客様の使用が適用法令に準拠していることを確保する責任は、お客様のみが負うものとします。特に、お客様は、パブリシティ権、知的財産権、データ保護およびその他のプライバシー権を含むがこれらに限定されない、第三者の権利を侵害しない方法で本製品を使用する責任を負います。お客様は、大量破壊兵器の開発または製造、化学兵器または生物兵器の開発または製造、核爆発物または安全でない核燃料サイクルに関連するいかなる活動、あるいは人権侵害を支援する活動。
- 本文書と適用される法律との間に矛盾が生じた場合、後者が優先する。

© Hangzhou Hikvision Digital Technology Co., Ltd. All rights reserved.

対象モデル

本マニュアルは、デジタルサイネージに適用されます。

記号の定義

本書で使用する記号の定義は以下の通りです。

記号	説明
 Note	本文の重要な点を強調したり補足したりするための追加情報を提供します。
 Caution	回避しなければ、機器の損傷、データの損失、性能の低下、または予期せぬ結果につながる可能性のある危険な状況を示します。
 Danger	回避しなければ、死亡または重傷につながる、リスクの高い危険を示します。

本マニュアルに記載されているすべての製品は、Product Security Redline V4 に基づいて開発されています。

目次

第 1 章 はじめに	1
第 2 章 注意事項および操作	2
2.1 電源ケーブルの使用	2
2.2 清掃とメンテナンス	3
2.3 設置上の注意事項	3
2.4 リモコン	4
第3章 起動とシャットダウン	5
3.1 デバイスの起動	5
3.2 シャットダウン	5
第4章 インテリジェントアプリケーション	6
4.1 ホームページの操作	6
4.2 設定	6
4.3 FocSign Player	7
4.3.1 有効にする	7
4.3.2 デバイスを追加	7
4.3.3 「デバイス」ページでの操作	12
4.3.4 USBフラッシュドライブ経由でのリリース	12
4.3.5 FocSign Editor 経由での公開	13
4.4 ファイルブラウザ	14
4.5 WonderCastServer	15
4.6 システムプリインストールアプリ	15
第5章 システム設定	17
5.1 ネットワーク設定	17
5.1.1 有線ネットワーク設定	17
5.1.2 無線ネットワーク設定	17
5.1.3 ホットスポット設定	18
5.1.4 Bluetooth	18
5.2 ディスプレイ設定	19
5.3 オーディオ設定	20
5.4 アプリ管理	20
5.5 ストレージ管理	21
5.6 セキュリティ	21
5.7 システム	22
5.7.1 概要	22
5.7.2 日時	22
5.7.3 言語と入力	23
5.7.4 その他の情報	23

5.8 詳細設定	24
----------------	----

第1章 はじめに

本デジタルサイネージ（以下、「本デバイス」という）は、4辺均一のベゼルデザインを採用し、フレーム幅が狭く、スリムなプロファイル、そして超薄型の背面カバーを備えています。電源コードや信号ケーブルを整理整頓し、効率的に配線できる合理的なケーブル管理システムが特徴です。

本デバイスは、横向きと縦向きの柔軟な切り替えに対応しており、画像や動画を同時にマルチウィンドウで再生することが可能です。500～700ニットの輝度を持つ

500～700ニットの高輝度

プロモーション用途に最適です。

主な特長

- 超狭額縁、均一なベゼルデザイン。
- ワイヤーガイド溝を備えた超薄型バックシェルデザイン。
- 4K HD画質で、より精細な映像表現を実現。
- 彩度の高い広色域、鮮明で広い視野角。

第2章 注意事項と操作

本機の液晶パネルは、高精度な技術を用いて製造されています。しかし、画面上に常に点灯している、あるいは全く点灯しない微細な点が見られる場合や、横から見た際に色や明るさが不均一に見える場合があります。しかし、上記の現象はLCDディスプレイでは一般的なものであり、故障ではなく、本機の性能には影響しません。

- 本製品の操作中に第三者によって引き起こされた不具合、およびその他の故障や損害について、当社は一切の責任を負いません。
- 火災や故障の危険を避けるため、ほこりや高湿度、あるいは油や蒸気が付着する環境では本機器を使用しないでください。
- 直射日光の当たる場所や、強い光源の近くには本機器を置かないでください。
- 本機器を、強い放射線を放出する他の機器の近くに置かないでください。
- 本機を雨や湿気の多い環境にさらさないでください。
- 本機器を不安定または危険な場所に置かないでください。強い衝撃、振動、または揺れを避けてください。
- 火災の危険を避けるため、本機器を暖房器具の近くや高温の場所では使用しないでください。
- 本機を低温環境から高温環境へ移動させた後は、すぐに電源を入れず、結露が蒸発するまでお待ちください。
- 本体の内部に物を挿入しないでください。
- 本製品の上に重い物を置かないでください。
- 本機および付属品は、予告なく変更される場合があります。
- ディスプレイは壊れやすい素材で作られているため、落下や衝撃に弱いです。取り扱いには十分ご注意ください。
- デバッグや操作中の不適切な操作は、本機の損傷の原因となる可能性があります。
- 本体を硬い物で引っかかりたり、叩いたりすることは固く禁じられています。故障や不具合を防ぐため、使用中は頻繁に電源のオン/オフを行わないでください。
- 本機から煙、異臭、異音が出た場合は、直ちに電源を切り、電源ケーブルを抜いてから、サービスセンターにご連絡ください。

2.1 電源ケーブルの使用

- 電源ケーブルが破損または故障している場合は、サービスセンターにご連絡ください。電源が適切に接地されており、筐体の銘板に記載されている仕様を満たしていることを確認してください。
- 本機を雨や湿気の多い環境にさらさないでください。雷雨の際は、電源プラグとアンテナを取り外してください。
- 本機を長期間使用しない場合は、本機の電源を切り、電源ケーブルを抜いてください。

- 電源を切った後、短時間放電が続く場合があります。電源を切ってから2分間待ってから、本機を操作してください。
- 本製品には、同梱の純正電源ケーブルのみを使用してください。同仕様の電源ケーブルをご購入の際は、正規販売店にお問い合わせください。
- 電源が確実に接地されていることを確認してください。
- 電源プラグやコンセントにほごりや金属片が付着しないようにしてください。
- ケーブルを改造しないでください。
- ケーブルの上に重い物を置かないでください。
- ケーブルを熱源から遠ざけてください。
- ケーブルを引っ張って電源プラグを抜かないでください。
- 電源ケーブルを物理的または機械的な損傷から遠ざけてください。
- このケーブルはインタラクティブディスプレイ専用です。他の機器には使用しないでください。

2.2 清掃とメンテナンス

- 背面カバーの穴は放熱用です。背面カバーに液体をかけたりスプレーしたり、濡れた布で拭いたりしないでください。
- 清掃を行う前に、電源プラグを抜いてください。
- 画面に高輝度の画像を長時間表示しないでください。
- 乾いた、柔らかく、ほごりのない布を使って本体を拭いてください。
- 内部の清掃については、サービスセンターにお問い合わせください。
- 適切なメンテナンスを行うことで、初期段階での故障を回避できます。
- 本体を定期的に清掃し、新品同様の状態を保ってください。
- 水、スプレー式クリーナー、または工業用化学薬品を使用して本機を清掃しないでください。異物が本機内部に入らないようにしてください。
- 本機のメンテナンスについては、資格のあるサービス担当者に依頼してください。本機に損傷がある場合は、弊社にご連絡ください。無断でメンテナンスを行わないでください。

2.3 設置に関する注意事項

- 最高の性能を発揮させるため、設置前に本体の画面と背面をきれいに拭いてください。
- 安全のため、メーカーが提供する壁掛け金具またはスタンドのみをご使用ください。
- 壁への取り付けは、専門のスタッフにご依頼ください。
- 設置前に付属品を確認してください。不足しているものがあれば、販売店にご連絡ください。
- 本体をきつく締めすぎないでください。画面が歪む恐れがあります。
- 本機は耐荷重のある壁に取り付けてください。
- 本機を安定した場所に置かず、壁にしっかりと固定してください。

- 電源接続を容易にするため、本機は利用可能なAC電源コンセントの近くに設置してください。信号干渉を防ぐため、他の機器と同じアース線を使用してください。
- 機械的な振動源の近くには本機を設置しないでください。
- 本製品を、虫が容易に侵入できる環境に設置しないでください。
- 結露を防ぐため、本体をエアコンの吹き出し口に直接向けしないでください。
- 電波干渉を防ぐため、本機を強い電磁界の中に置かないでください。

2.4 リモコン

本機を操作するためにマウスを接続するほか、赤外線リモコンを使用することもできます。操作手順の画像は以下の通りです。

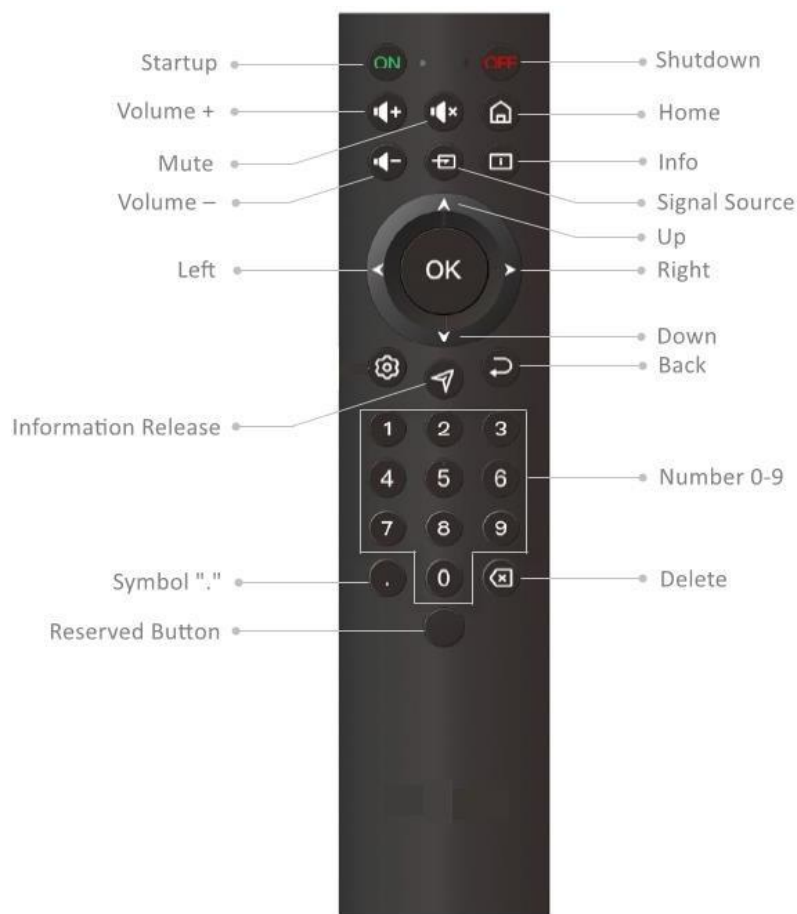


Figure 2-1 リモコン

Note

リモコンはバージョンによって異なる場合があります。実際の状況をご確認ください。

第3章 起動とシャットダウン

3.1 デバイスの起動

本体を電源に接続すると、自動的に起動します。

3.2 シャットダウン

電源を直接切るか、リモコンの電源オフボタンを長押しして、デバイスをシャットダウンできます。



電源プラグを抜かずにリモコンの電源オフボタンを押した後、リモコンの

リモコンの をクリックして、デバイスを起動できます。



第4章 インテリジェントアプリケーション

4.1 ホームページの操作



ソフトウェアのインターフェースや機能は、デバイスのモデルによって異なる場合があります。本マニュアルの画像はすべて、説明のためのものです。

本機の電源を入れ、ホームページに移動します。

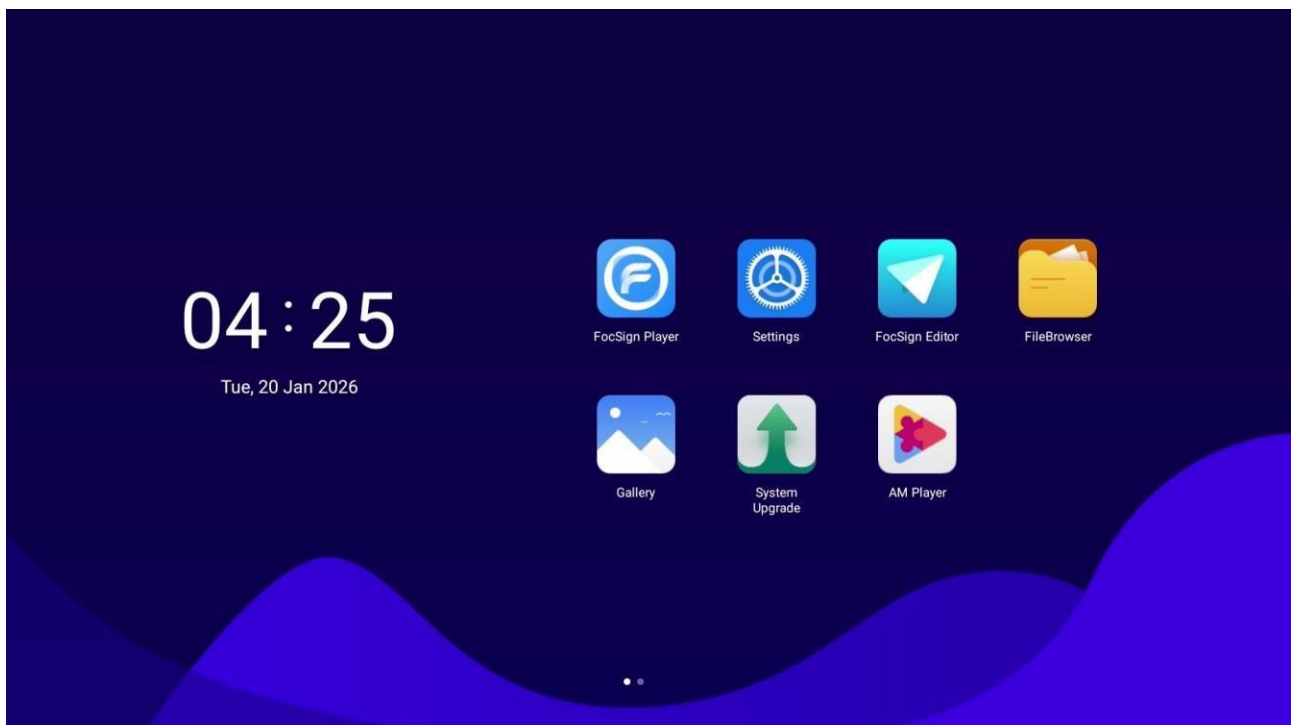


Figure 4-1 ホーム画面



ホームページのアプリのアイコンを長押しすると、以下の操作が行えます：

- アプリを別の画面に移動する。
- アプリを他のアプリと一緒にフォルダにまとめる。

4.2 設定

クリックしてシステム設定に入ります。詳細については、「**第5章 システム設定**」を参照してください。

4.3 FocSign Player

FocSign Player を起動すると、FocSign Player 経由でデバイスにプログラムを表示できます。

4.3.1 Activate

手順

Step 1 ホームページで「**FocSign Player**」アプリケーションをクリックしてください。

Step 2 ポップアップウィンドウで、ご自身のパスワードを設定してください。

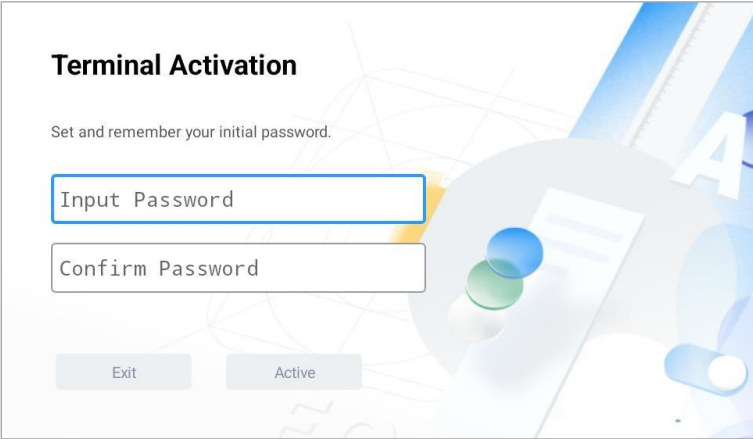
A pop-up window titled "Terminal Activation" with a background illustration of a hand holding a stylus. The window contains the text "Set and remember your initial password." followed by two input fields: "Input Password" and "Confirm Password". At the bottom, there are two buttons: "Exit" and "Active".

Figure 4-2 ポップアップウィンドウ



Note

このパスワードは、今後の操作で頻繁に使用されますので、必ず覚えておいてください。パスワードを忘れた場合は、テクニカルサポートまでご連絡ください。

Step 3 (オプション) パスワード保護を有効にします。パスワード保護を有効にすると、デバイスのセキュリティを保護するため、詳細情報ページで設定を行うたびにパスワードの入力が必要になります。

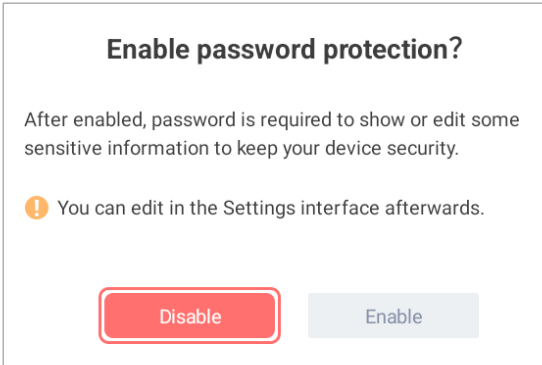
A dialog box titled "Enable password protection?". It contains the text "After enabled, password is required to show or edit some sensitive information to keep your device security." and a warning icon with the text "You can edit in the Settings interface afterwards." At the bottom, there are two buttons: "Disable" (highlighted in red) and "Enable".

Figure 4-3 パスワード保護を有効にする

4.3.2 Add Device

FocSign Playerを起動した後、クラウドまたはサーバー登録を介してデバイスを追加するか、手動でデバイスを追加できます。

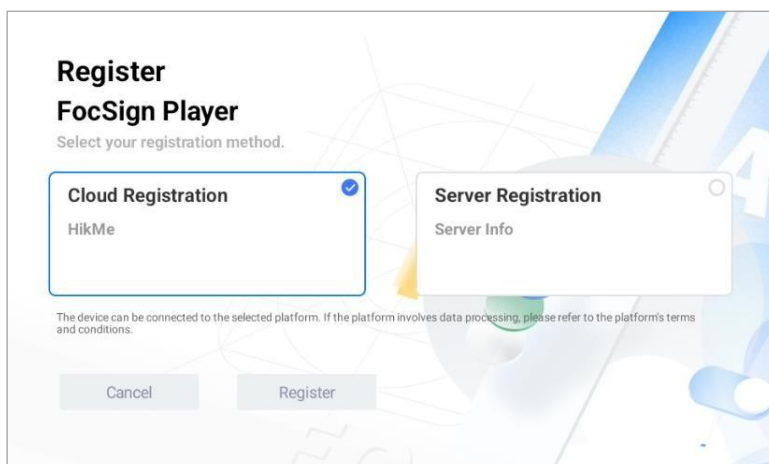


Figure 4-4 クラウドまたはサーバー登録

クラウド登録

- 1) 「クラウド登録」→「登録」をクリックします。
- 2) デバイス上の  デバイス上でクリックするか、以下のQRコードをスキャンして、クラウド登録のユーザーマニュアルをご覧ください。



Figure 4-5 クラウド登録ユーザーマニュアル

サーバー登録

手順

Step 1 「サーバー登録」→「登録」をクリックします。または、詳細情報ページに移動し、「情報を表示」→「クリックして再接続」をクリックして登録することもできます。

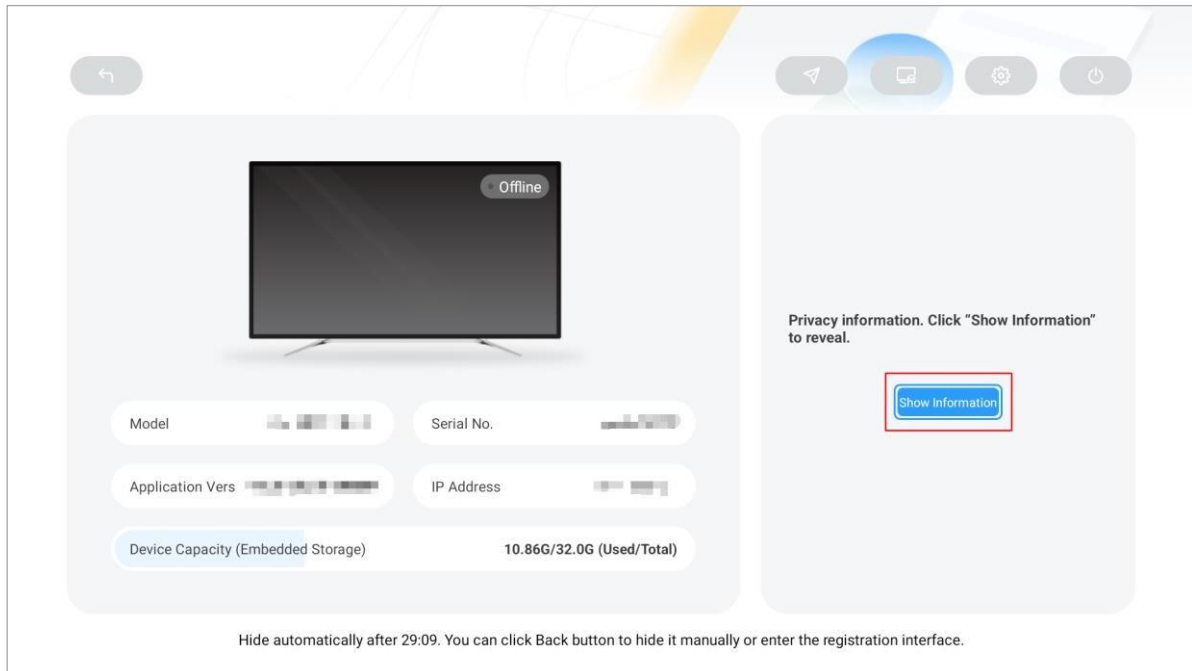


Figure 4-6 「情報を表示」をクリックして登録

Step 2 デバイス名（任意）、サーバーアドレス、ポート番号、および HikCentral FocSign Web Client の認証コードを入力します。「OK」をクリックします。

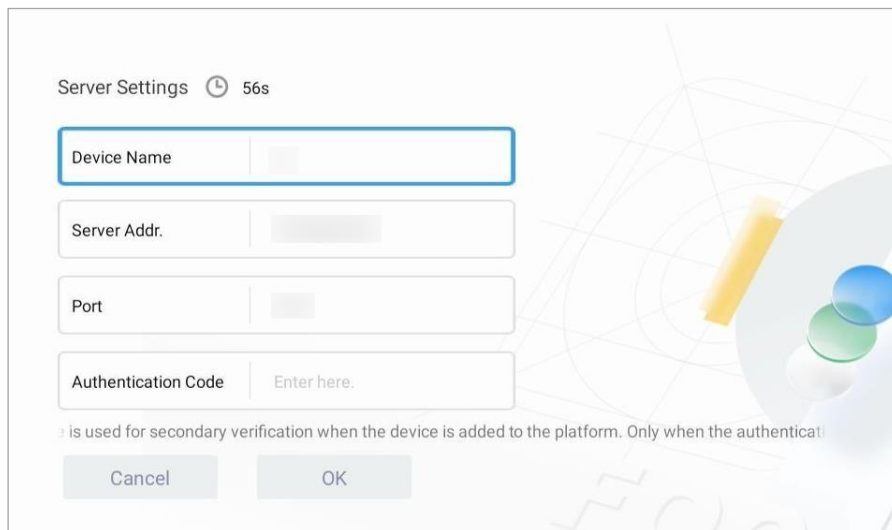


Figure 4-7 サーバー設定

Note

- サーバアドレスは、プラットフォームクライアントから確認できます。
- デフォルトのポート番号は7660です。プラットフォーム上で変更可能です。
- 認証コードは、デバイスをプラットフォームに追加する際の二次確認に使用されます。プラットフォームに入力された認証コードが、デバイスの追加は正常に完了します。

Step 3 詳細情報ページに入れば、FocSign Playerでの基本設定は完了です。

Step 4 HikCentral FocSign Web クライアントで、[デバイス管理] → [デバイスとサーバー] → [デジタルサイネージ端末] → [自動登録] → [デバイスでの自動登録による追加] の順に選択します。

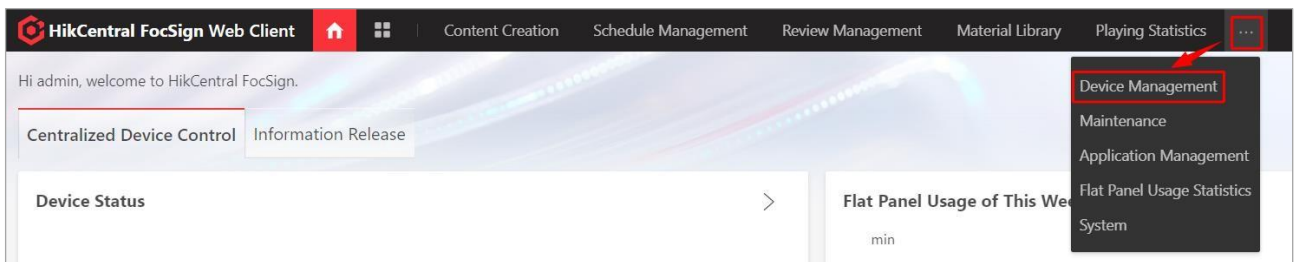


Figure 4-8 デバイス管理

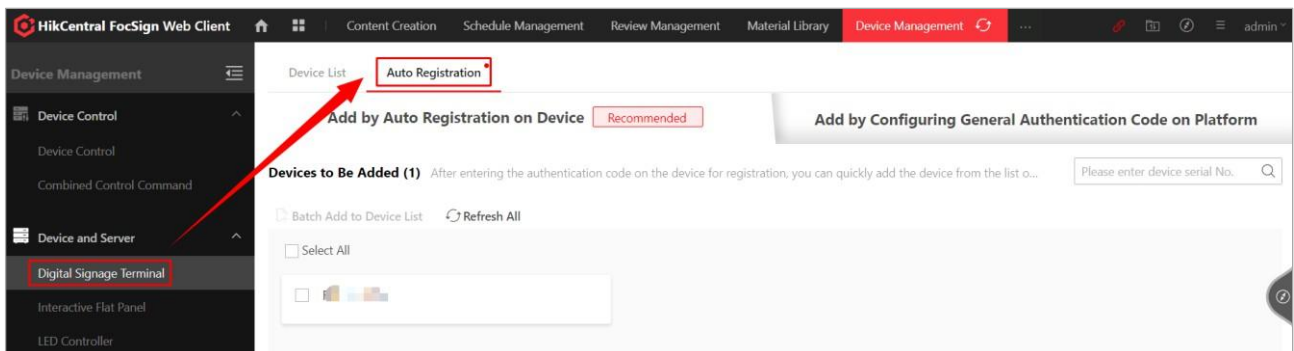


Figure 4-9 自動登録

Step 5 デバイスでサーバー設定を完了したら、「すべて更新」をクリックしてください。プラットフォーム上でデバイスが見つかったら、デバイスの

「Offline」が「Online」に変わります。

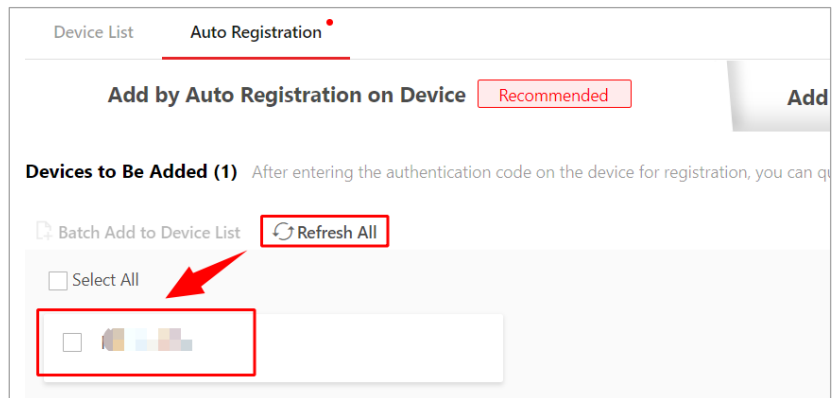


Figure 4-10 デバイスを検索するには更新してください

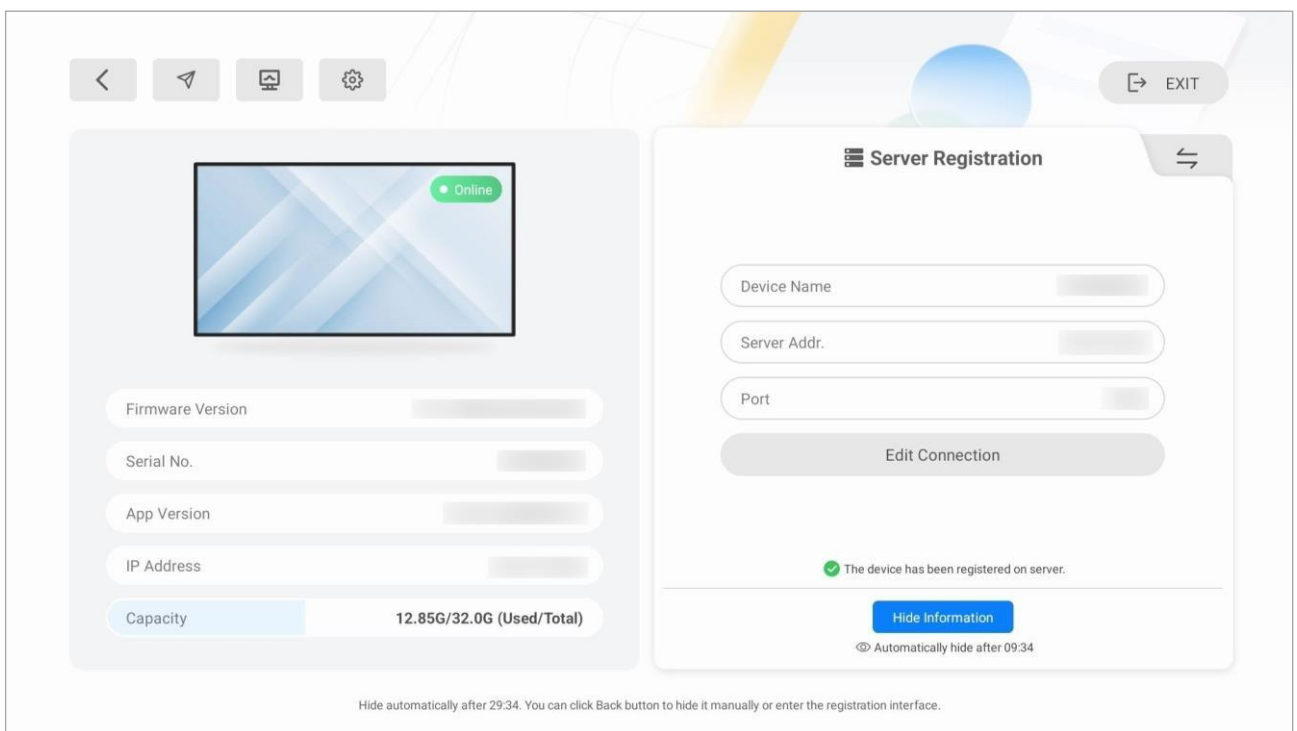


Figure 4-11 詳細情報ページ

手動で追加

HikCentral FocSign Web Clientのユーザーマニュアルをご参照ください。

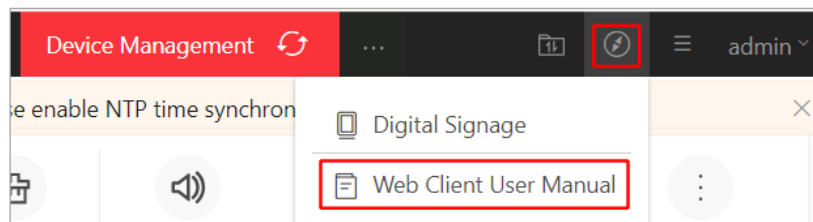


Figure 4-12 ユーザーマニュアルを入手

Note

ユーザーマニュアルには、コンテンツの作成や公開など、その他の必要な操作についても記載されています。

4.3.3 Operations on Device Page

ページ上部に5つのボタンがあります。

Table 4-1 ボタンの説明

アイコン	説明
	クリックしてプログラムページに戻る。
	クリックしてFocSign Editorアプリケーションを開きます。詳細については、ユーザーマニュアルの「 4.3.5 FocSign Editorによるリリース 」をご参照ください。
	クリックして、デバイスとサーバーなどの接続状態を確認します。
	● パスワード保護を有効にするかどうかを選択します。 ● プログラムを組み込みストレージに強制的に保存するかどうかを選択できます。 ● 左下隅にデバイス情報（デバイスのオフラインプロンプトなど）を表示するか非表示にするかを選択します。 ● ライブビューストリームメディアプログラムのウィンドウで、フレームレートとネットワーク速度を表示するか非表示にするかを選択します。
	クリックして FocSign Player を終了します。

4.3.4 Release via USB Flash Drive

このプラットフォームでプログラムを実行するほか、USBメモリを挿入して実行することもできます。

ご利用開始前に

- FocSign Player が有効になっています。
- 「設定」→「セキュリティ」に移動し、「ストレージの禁止」を無効にしてください。

手順

Step 1 USB フラッシュドライブのルートディレクトリに「infoData」という名前のファイルを作成します。

Step 2 （オプション）素材ファイルに名前を付けます。命名規則は「番号_ファイル名.mp4/jpeg」です。例：1_material.mp4、22_material.jpeg。

Note

数字は 5 桁以内にしてください。

Step 3 (任意) 「infoData」フォルダ内に「config.txt」ファイルを作成し、そのファイルに「time=10s」と入力してください。数字の「10」は画像の切り替え時間を表しており、デフォルトの時間は10秒です。この数値を編集し、USBメモリを再度挿入すると、設定した時間ごとに画像が切り替わります。

**Note**

時間は10秒～604800秒の範囲で設定してください。設定した数値がこの範囲外の場合、切り替え時間はデフォルトの10秒になります。

Step 4 USBフラッシュドライブをデバイスに挿入し、パスワードを入力してください。デバイスが自動的にプログラムを全画面表示で起動します。

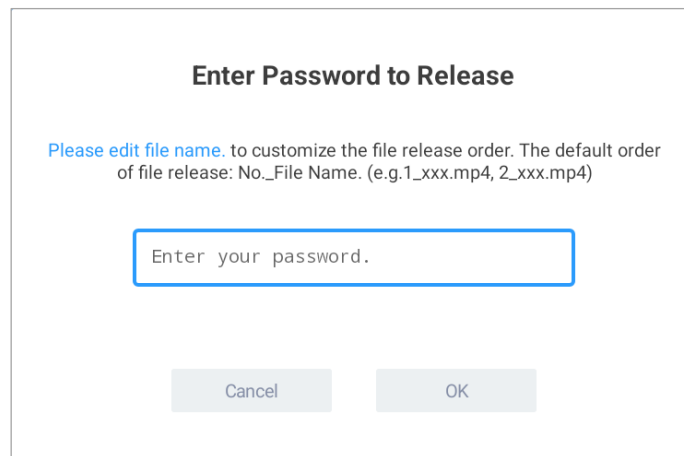


Figure 4-13 パスワードを入力して起動

**Note**

- 素材名をカスタマイズしている場合、再生順序はファイルの番号順になります。
- 素材名を変更しない場合、ファイルは最終編集順に再生されます。最後に編集されたファイルが最初に再生されます。また、画像が最初に再生され、その後に動画が再生されます。

4.3.5 Release via FocSign Editor

FocSign Editorは、デジタルサイネージ上でプログラムを作成・配信できるローカル編集ソフトウェアです。以下のQRコードをスキャンすると、ユーザーマニュアルをご覧ください。



Figure 4-14 FocSign Editor ユーザーマニュアル

4.4 ファイルブラウザ

ホーム画面の「FileBrowser」をクリックします。デフォルトでは、現在のディレクトリにあるすべてのファイルが表示されます。「Image」、「Doc」、「AV」、または「Installation Package」をタブすると、指定したファイルを表示できます。

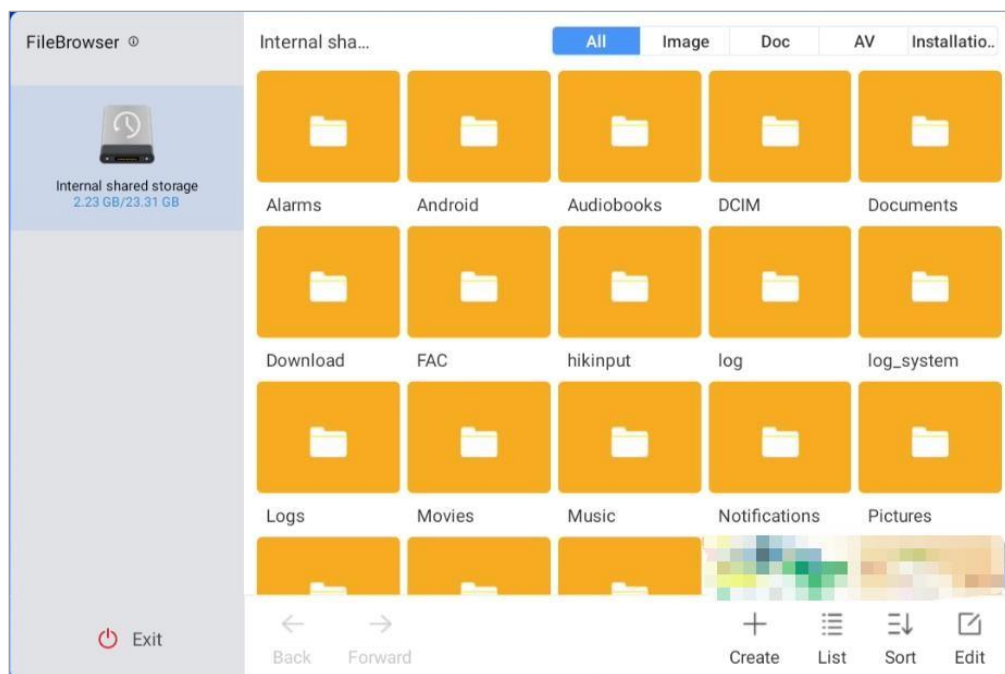


Figure 4-15 ファイルブラウザ

アイコンの説明は以下の通りです。

Table 4-2 FileBrowser アイコンの説明

アイコン	説明	アイコン	説明
戻る/進む	前のページ/次のページへ移動します。	作成	フォルダを作成
グリッド/リスト	ファイルをグリッドまたはリストモードで表示します。	並べ替え	ファイルの順序を変更します。
編集	ファイルを編集します。	/	/

クリック  をクリックしてドキュメントを編集します。その他の機能については、以下で説明します。

Table 4-3 編集アイコンの説明

アイコン	説明	アイコン	説明
すべて選択	すべてのファイルを選択します。	コピー先	選択したファイルを別のフォルダにコピーします。
移動	移動選択したファイルを別のフォルダに移動します。	削除	選択したファイルを削除します。
共有	選択したファイルを共有します。	/	/

Note

ファイルを長押しして、その他の操作を行ってください。

4.5 WonderCastServer

PCやスマートフォンの画面をデジタルサイネージにミラーリングできます。WonderCastServerの詳細については、以下のQRコードをスキャンしてください。



Figure 4-16 WonderCastServer ユーザーマニュアル

Note

WonderCastの機能は、デバイスモデルによって異なる場合があります。実際の使用状況をご確認ください。

4.6 システムにプリインストールされているアプリケーション

以下の表は、システムにプリインストールされているアプリケーションの概要です。詳細については、各アプリケーションのヘルプドキュメントをご参照ください。

Note

システムにプリインストールされているアプリケーションは、デバイスの種類によって異なります。

Table 4-4 システムにプリインストールされているアプリケーションの紹介

アプリケーション	概要
ファイルブラウザ	ファイルの管理。
ギャラリー	SDカードやUSBメモリ内の画像を表示するために使用します。
AM Player	AM Playerは、多機能なメディアプレーヤーです。
WonderCastServer	画面ミラーリングのために、デバイス、携帯電話、またはPCを接続するために使用されるアプリケーションです。

第5章 システム設定

5.1 ネットワーク設定

5.1.1 Wired Network Settings

手順

Step 1 「設定」→「ネットワーク」→「有線ネットワーク」の順に選択します。有線ネ

Step 2 ットワークを有効にします。

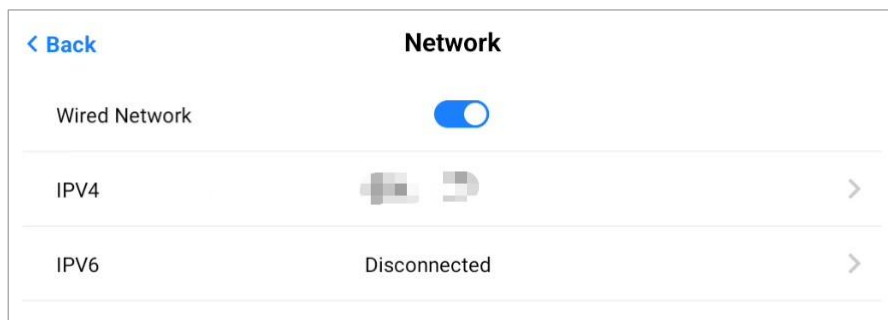


Figure 5-1 有線ネットワーク設定

5.1.2 Wireless Network Settings

手順

Step 1 「設定」→「ネットワーク」→「ワイヤレスネットワーク」に移動します。

Step 2 Wi-Fiを有効にすると、新しいネットワークを追加したり、利用可能なネットワークに接続したりできます。

利用可能なネットワークに接続する

利用可能なネットワークの一覧から目的のネットワークをタップし、パスワードを入力して接続します。

その他のネットワークの追加

手順

Step 1 「その他のネットワーク」をタップします。

Step 2 ネットワーク名を入力し、「セキュリティ」を選択します。

Search and Join Wi-Fi

Network Name Enter SSID

Security Open >

Proxy None >

Static IP ☐

Cancel Connect

Figure 5-2 その他のネットワークの追加

Step 3 (オプション) プロキシとネットワークのIPタイプを選択します。

Step 4 「接続」をタップして、デバイスを追加したワイヤレスネットワークに接続します。

5.1.3 Hotspot Settings

このデバイスが有線ネットワークに接続されている場合、ホットスポット機能を有効にすることで、他のデバイスにワイヤレスネットワークを提供できます。

手順

Step 1 「設定」→「ネットワーク」→「ホットスポット」に移動します。

Step 2 「ポータブル WLAN ホットスポット」を有効にします。

Step 3 ポップアップページでパラメータを設定します。

< Back **Hotspot**

Portable WLAN Hotspot ☒

Name >

Security WPA2 PSK >

Password < > >

AP Frequency Band 2.4GHz >

AP Channel 6 >

Figure 5-3 ホットスポット設定



Note

デバイスが 2.4 GHz と 5 GHz の両方をサポートしている場合は、**AP 周波数**に 5 GHz を設定し、**AP チャンネル**には推奨チャンネルを設定すると、ワイヤレス画面ミラーリングなどの機能をより快適に利用できます。

5.1.4 Bluetooth

リモコン、オーディオ、キーボードなどは Bluetooth 経由で接続でき、ファイル転送も行うことができます。

Bluetoothを有効にして、近くにある利用可能なデバイスを検索し、接続したいデバイスをタップしてください。

5.2 ディスプレイ設定

「設定」→「ディスプレイ」に移動し、明るさや画面の回転などのパラメータを調整します。

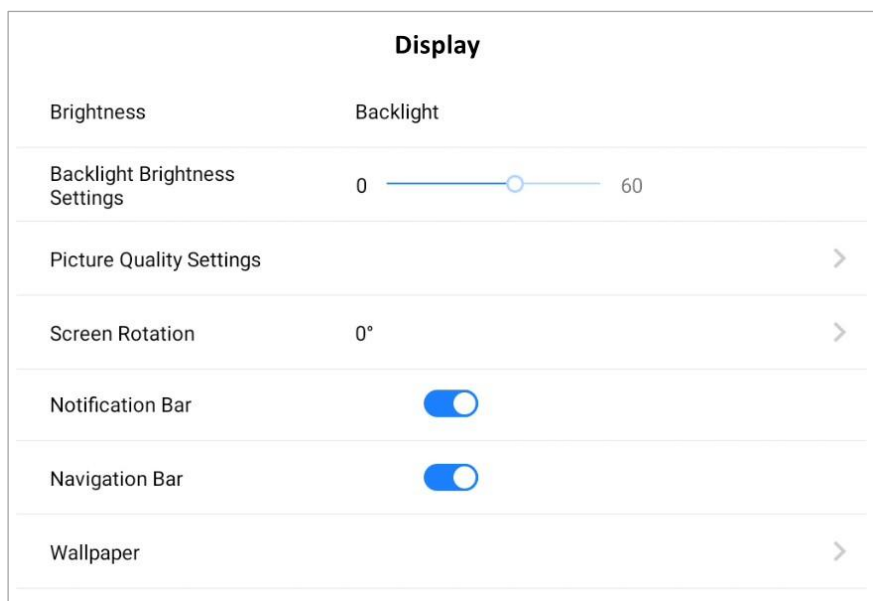


Figure 5-4 ディスプレイ設定

バックライトの明るさ設定

スライドして画面の明るさを調整します。

画質設定

クリックして、**画像モード**、**コントラスト**、**彩度**、**シャープネス**、**色温度**を調整します。 **画面の回転**

クリックして画面の回転角度を設定します。

通知バー

通知バーを表示するように設定します。

ナビゲーションバー

ナビゲーションバーを表示します。

壁紙

クリックして、ギャラリーまたは「壁紙とスタイル」から壁紙を選択します。

5.3 オーディオ設定

手順

Step 1 「設定」→「オーディオ」に移動し、オーディオパラメータを設定します。音量値を調

Step 2 整します。

Step 3 「タイマー付きオーディオ」を有効にします。この機能は、HikCentral FocSign Webクライアントで設定できます。

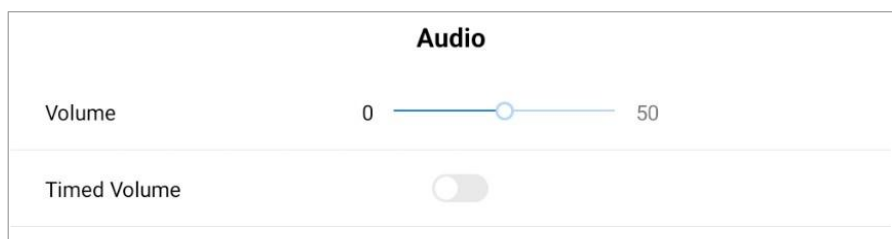


Figure 5-5 オーディオ設定

5.4 アプリ管理

手順

Step 1 [設定] → [アプリ管理] に移動します。

Step 2 「起動時に実行」をクリックして有効にします。デバイスの起動時に実行するアプリを選択できます。

「デフォルトアプリ」をクリックして、デフォルトのブラウザアプリとホームページアプリを設定します。詳細を確認するには、目的のアプリケーションをクリックします。

Step 3

Step 4

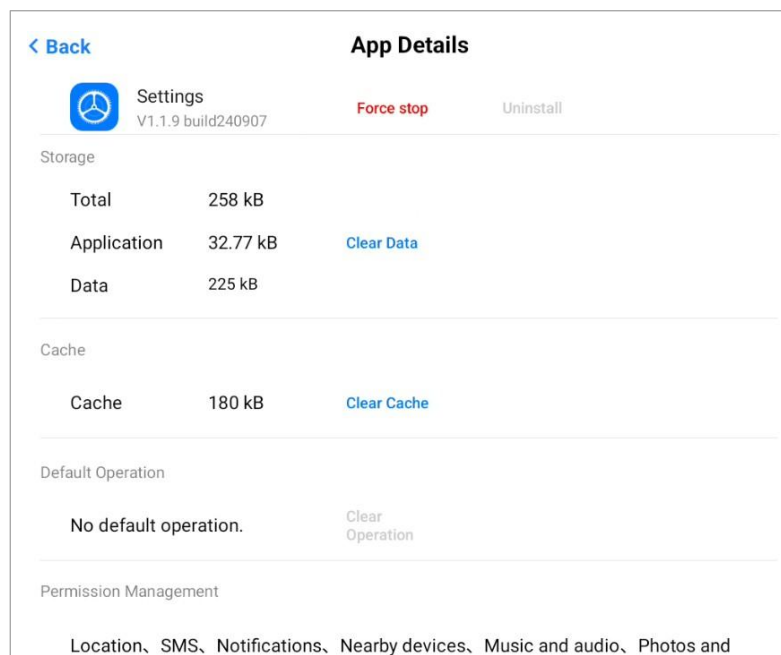


Figure 5-6 アプリの詳細



プリインストールされたアプリはアンインストールできません。「**アプリの詳細**」内のアイコンをタップすると、アプリを開くことができます。

5.5 ストレージ管理

「**ストレージ管理**」をクリックすると、ストレージの詳細情報を確認できます。

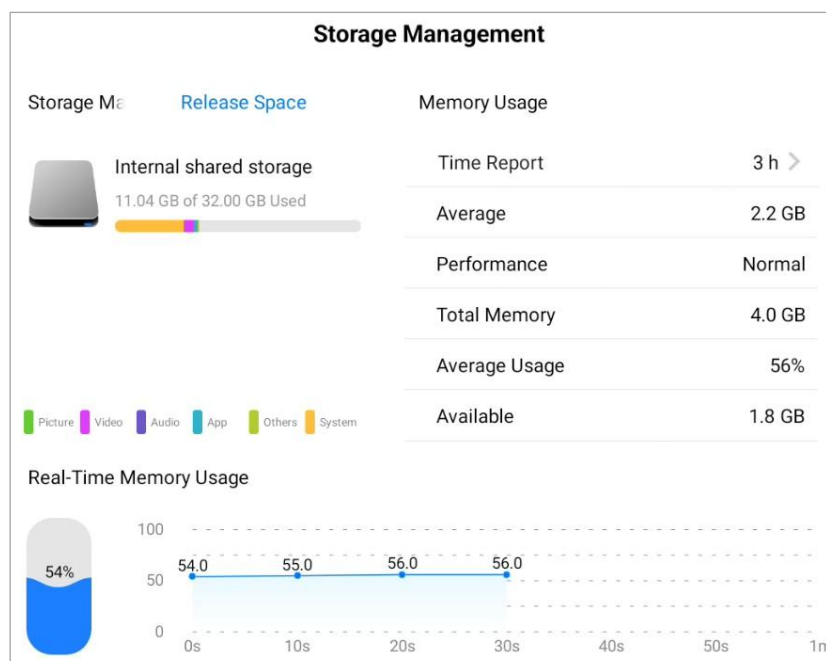


Figure 5-7 ストレージ管理の詳細

5.6 セキュリティ

「**設定**」→「**セキュリティ**」に移動して、セキュリティ設定を行ってください。設定を有効にする際には、**アクティベーションコード**の入力が必要です。



ここでいうアクティベーションコードとは、端末を初めて使用した際に設定したパスワードのことです。

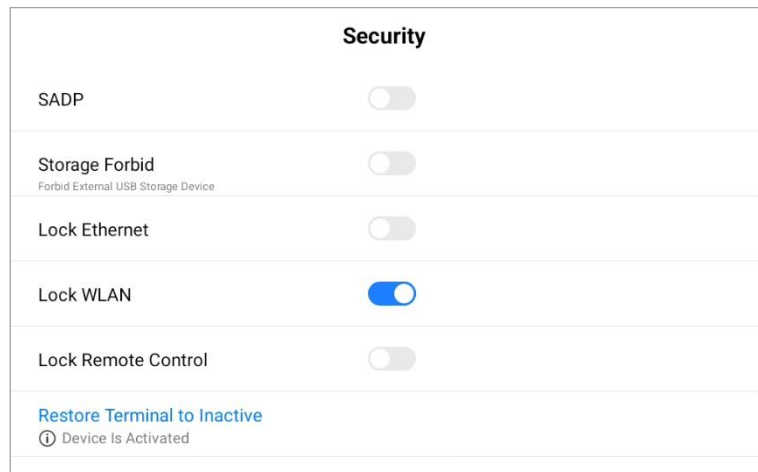


Figure 5-8 セキュリティ設定

5.7 システム

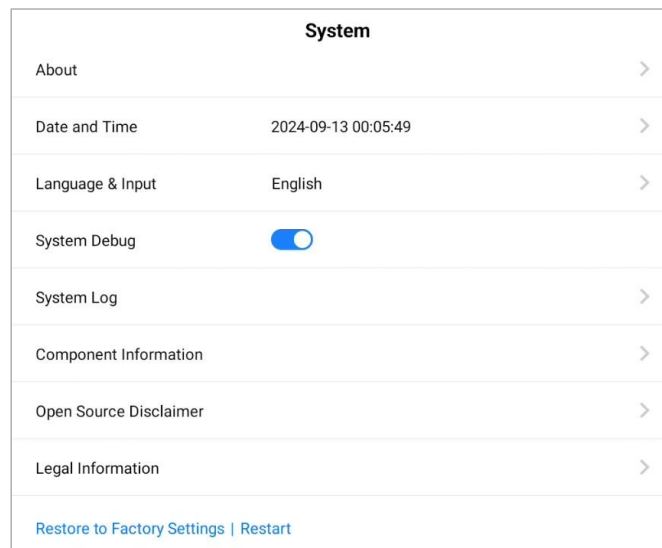


Figure 5-9 システム

5.7.1 About

クリックすると、デバイスモデル、シリアル番号、Android バージョンなどのデバイス情報を確認できます。

5.7.2 Date and Time

Figure 5-10 日付と時刻の設定

- 「**手動時刻同期**」モードを選択すると、日付と時刻を手動で設定できます。
- 「**NTP時刻同期**」モードを選択した場合は、次に「**時刻同期タイプ**」（**IPアドレスモード**または**ドメイン名モード**）を選択し、**IPアドレス／ドメイン名**、**ポート番号**、および**時刻同期の頻度**を入力してください。

Step 3 (オプション) 24 時間表示を有効にすると、時刻が 24 時間形式で表示されます。

手順

Step 2 希望の言語を選択します。

Step 3 「入力方法」をクリックして、希望の入力方法を選択します。

Figure 5-11 言語と入力の設定

5.7.4 Other Information

「その他の情報」をタップすると、**システムデバッグの有効化**、**システムログの確認**、**コンポーネント情報**、**オープンソースに関する免責事項および法的情報の確認**、**工場出荷時設定への復元**、**デバイスの再起動を行うことができます。**

5.8 詳細設定

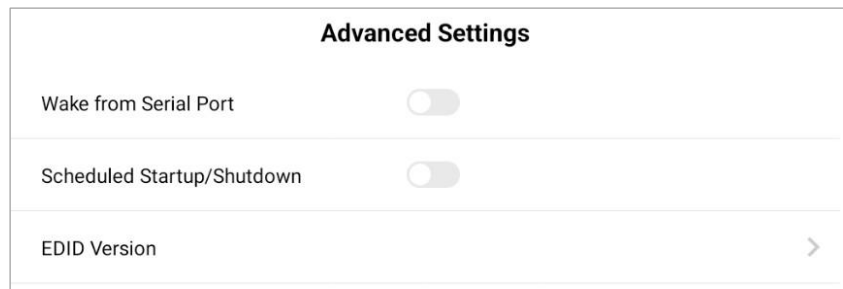


Figure 5-12 詳細設定

シリアルポートからの起動

この機能を有効にすると、スタンバイ状態のデバイスをシリアルポートコマンドで起動することができます。

起動/シャットダウンのスケジュール

起動およびシャットダウンのスケジュールを設定します。

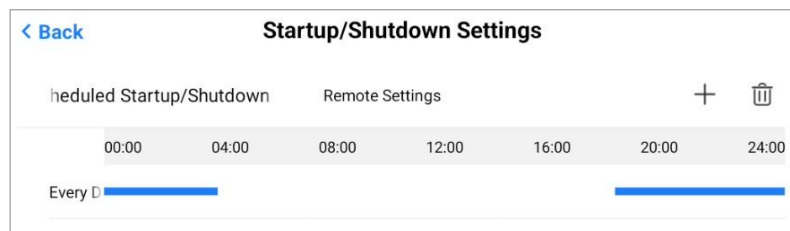


Figure 5-13 起動/シャットダウンのスケジュール設定

EDID バージョン

EDID のバージョンを選択できます。



遠くを見据え、さらに先へ

UD39652B-D